

区分	専門分野	単位	1単位
科目名	成人臨床看護Ⅴ	時間数	30時間
講師名	専任教員、非常勤講師	履修学年	2年次
概要	成人期にある対象の健康障害を経過別（終末期）に理解し、健康のレベルに応じた援助の方法を学ぶ。		
学習目標	1. 終末期にある成人期の対象（患者、家族）を全人的に理解できる。 2. 終末期にある対象の看護の特徴を理解できる。 3. 事例を通して終末期看護について理解することができる。		
授業内容			
回数	学習内容	授業形態	
1～7	1 終末期の理解 ・終末期医療の歴史、終末期患者の対象 治療を受ける場、終末期看護の機能と役割 ・終末期にある患者の理解（身体、心理、社会的、スピリチュアルな特徴） ・終末期にある患者の家族の理解 悲嘆、遺族ケア ・終末期における看護の特徴 2 緩和ケアにおける看護師の役割 全人的苦痛の緩和 QOL 包括的アセスメント 日常生活を整える支援、チームアプローチ、家族支援、看護者の関り 身体的症状に対する緩和ケア 死の受容プロセス、 ・終末期における倫理的課題 ・臨死期の看護 危篤 臨終時 死亡時 エンゼルケア ・レポート提出 自己が考える死生観（死に対する自己の考え）について *ワークか視聴覚教材を活用 ・試験	講義 試験	
8	終末期におけるコミュニケーション（意思決定支援、悪い知らせ）	講義	
9	終末期におけるコミュニケーション（意思決定支援、悪い知らせ）	ロールプレイ	
10・11	呼吸器疾患（肺がん）のある対象の看護 1) 肺がんの基礎知識 2) 終末期にある患者の看護/試験	講義 試験	
12	提示された事例（肺がん）をもとにグループワークし、事例から考えられる状況や看護をまとめ、発表する。	演習	
13・14	婦人科疾患（子宮がん）のある対象の看護 1) 子宮がんの基礎知識 2) 終末期にある患者の看護/試験	講義 試験	
15	提示された事例（子宮がん）をもとにグループワークし、事例から考えられる状況や看護をまとめ、発表する。	演習	
使用教科書・教材・参考書			
新体系看護学全書 終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア メヂカルフレンド社 医歯薬出版 成人看護 終末期看護 ナーシンググラフィカ 成人看護学① 緩和ケア 看護学テキストNice 緩和ケア 南江堂 新体系看護学全書 成人看護学② 呼吸器 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 成人看護学⑩ 女性生殖器 メヂカルフレンド社 系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院			
成績評価の方法			
筆記試験1～7回40%+レポート提出20% 筆記試験10・11回20%、13・14回20%			
備考			
・事例では、実習で受け持ち患者をもって自ら看護展開ができるよう患者の状況をどのように捉え、どう援助につなげるかの考え方を理解できるように教授 ・9回目 各クラス授業 それ以外は合同講義となる。 1～7回目は専任教員、8～15回目は非常勤講師			